

2020年度前期GP-PU履修計画

原子核理論研究室

酒井啓太

1 セミナーについて

修士課程時には必要ポイント数下限の10ポイントしか取っておらず、またその後行われたセミナーにも出席していないため、現在所持ポイントは0である。今年はセミナーの数が減る可能性も想定し、開催されたセミナーにはできるだけ参加するようにしていきたい。

2 海外研修について

今年度の海外研修の具体的予定は現時点では特に決まっていない。私はいまだ論文になる程度の成果を得ておらず、今の状態で海外研修を行ってもあまり共同研究にならないというのが私と指導教官（佐々木勝一先生）の共通見解である。従ってまずは修士論文の内容をさらに詰めて論文にすることに集中し、その成果を基に海外研修（共同研究）を行う予定である。海外研修先の先生に関しては、今のところ決定事項はないが佐々木先生から複数の候補を挙げていただいている。